

安全衛生だより

発行

公益財団法人
いわき市教育文化事業団
総括安全衛生管理者
渡辺紀夫

いわき市常磐藤原町手道
50-1

☎0246 (43) 0391

平成29年12月5日(火)
第10号

平成29年度
安全衛生
スローガン

「あぶないな」思った時に 即改善
心がけ 意識ひとつで 事故なくす

草野心平記念文学館 事務主任 荻 哲郎
いわき海浜自然の家 指導員 大和田 孝英

公益財団法人いわき市教育文化事業団

安全の日

平成15年12月5日、本事業団が実施した市内
試掘調査現場で労災死亡事故が発生しました。

事業団では、この重大事故を風化させること
なく、いつも思い起こし、安全への決意を誓う
ことを目的に、毎年この日を「安全の日」と定
め、労災事故防止を啓発する日としています。
安全はすべてに優先すること、そして安全に
今日という日を終わることがいかに大切かを、
あらためて考える一日にしてください。

冬の労災事故防止

冬期間は、降雪、低温及び強風など
特有の気象条件により積雪・凍結・寒
冷による筋肉の収縮が起き、転倒災害
などが発生しやすくなります。次の項
目に留意し、防止に取り組みましょう。

○ 転倒しやすい場所、足元の悪い場
所等を事前に把握。自分が気をつ
けるのは当たり前で、他の職員に
も教育・周知しましょう。

○ 防寒対策と合わせて冬道に適応
した靴底の靴を着用しましょう○
積雪・凍結路面は、なるべく小さ
な歩幅で足の裏面全体から着地す
るよう歩きましょう。

○ 準備運動を実施し、無理のない姿
勢で作業する。

○ 軒先からせり出している雪や氷
柱の除去は、高所での作業を避け、
雪などが落下するおそれがない安全
な地上で作業する。

冬期に発生しやすい労働災害の事例

● 他の作業場所へ移動するため、屋
外を歩行中、凍結した水たまりの
上に薄く雪が積もっていた箇所
で滑って転倒し足を負傷した。

年末年始無災害運動

年末年始無災害運動は、働く人たちが
が年末年始を無事故で過ごし、明るい
新年を迎えることができるようにとい
う趣旨で、昭和46年から厚生労働省の
後援のもと中央労働災害防止協会が主
唱する運動です。

一年の締めくくりを笑顔で送り、災
害のない明るい新年を迎えるために、
「安全再優先」の考え方を基本に、あ
わただしい時期にこそ、作業前点検の
実施、安全な作業方法の確認などを着
実に実施しましょう。



安全の決意

今年も12月5日を迎えました。
労災事故の原因は、すぐ身近に、
習慣化した作業の中にこそ潜んでい
ます。本来、毎日が安全の日でなけ
ればなりません。
亡くなられた方のご冥福を心から
お祈りするとともに、一人一人が安
全意識を高め、自発的な事故防止に
努めてください。

渡辺紀夫総括安全衛生管理者

研修会報告

安全管理者選任時研修に参加して

事務局次長 猪狩みち子

今年度、安全管理者に選任されたことから、六月十四・十五日に安全管理者選任時研修に参加しました。

安全管理の基本概念、安全管理者の責務、法令などの講習の後で、六人ずつ班に分かれ、様々な作業状況のイラストを見てリスクアセスメントについて検討し、最後にその検討内容を発表するというものでした。

私の班は製造業や建設業などの職種の方がおり、私では気づかない職種ならではの指摘事項や、リスク軽減のための対処など、様々な意見がありました。

埋文業務では、常時、安全教育に携わっていましたが、この研修によって発掘調査作業だけでなく、整理作業や各施設の業務でも様々なリスクが内在しているという観点に立った安全管理の重要性を実感しました。これを機会に、安全に対する心構えについて周知することにも努めたいと考えています。



いわき市立草野心平記念文学館

文学館は五月の消防訓練で、通報・避難誘導及び応急救護訓練を実施し、主に急病者や負傷者への人工呼吸、AEDの操作の取扱いなどを行いました。

早期除細動と心肺蘇生の重要性について解説を受けた後、AEDを用いて操作手順を学びました。

万が一に備えて、日頃から応急手当に関する知識と技術を身に付けておくことが大切だと感じました。



上級救命講習

主任学芸員兼副館長 長谷川由美

八月五日、上級救命講習に参加し、救命措置、誤飲・骨折等の応急手当、傷病人の搬送方法などについて学びました。七月二十六日には、伝承郷スタッフが救命措置等については、伝承郷スタッフが救命措置等について一時間程度、中央台分遣所の指導を受けましたが、終日行われた上級救命講習は、座学と実技でより詳しい内容でした。いずれも八月二十日に開催した「キッズミュージアムin伝承郷」に備えるためで、当日傷病人は出ませんでしたでしたが、伝承郷は、児童・高齢者の来園が多く、屋外での催事も行う施設です。今後とも危険予知とともに傷病人対応を念頭に努めていきたいと思えます。

活動予定

- 12月
 - 5日 事業団安全の日・安全パトロール
 - 1日～1月15日 年末年始交通事故防止県民
 - 6日～1月15日 年末年始防火啓発強調月間
 - 15日～1月15日 年末年始無災害運動
- 1月
 - 26日 第6回安全衛生委員会
 - 18日 文化財防火デー
- 2月
 - 8日 安全衛生パトロール
- 3月
 - 1日～7日 春の全国火災予防運動
 - 1日～8日 女性の健康週間
 - 15日 第7回安全衛生委員会
 - 15日 第7回安全衛生委員会